

単元について

○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説国語科第3学年及び第4学年、「C読むこと」の指導事項「エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を引用したり要約したりすること。」「カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと」の内容を受けて設定したものである。ここでは、「C読むこと」の言語活動例(2)「エ 紹介したい本を取り上げて説明すること。」を具体化し、世界各地の物語を読んで、あらすじをまとめて友達に紹介することをねらいとしている。

本教材は、はりねずみが拾った金貨で冬ごもりの支度をしようとするが、森の仲間たちの善意の贈り物により必要なものはそろい、最後には拾った金貨をだれかのために置いて帰るというウクライナの物語である。人物が登場するたびに同じような場面が繰り返される展開で、場面ごとに起きた出来事をまとめながら全体のあらすじをとらえるのに適した教材である。

いろいろな国や地域の物語を読みすすめる中で、人物の行動に即して出来事を確認、文章の要点に注意してあらすじをまとめることをねらいとしている。さらに外国の物語を読むことで、世界のいろいろな国や地域の風習や民衆の中で根付いてきた不思議やおもしろさにふれ、読みたい本を自ら選んで読む力をつけることができると考える。

○ 児童観

児童は、これまでも、場面ごとに起きた出来事に関連付けて読んだり、中心となる人物の気持ちを考えながら読んだりする学習を行っている。1学期に学習した「ゆうすげ村の小さな旅館」で、場面ごとにどんな出来事が起きたのかを確認、出来事のつながりを考えて読むことを学習した。しかし、読み取る力には個人差が大きく、大まかには読み取っているものの、文として表現すると大事な言葉が抜けていたり、長くまとまりのない文になったりする児童もいる。読書が好きな児童が多く、朝読書の時間に読書を楽しんでいる。また、読書傾向には個人差が大きく図鑑やクイズの本が中心で、物語の楽しさを味わって読むには至っていない児童もいる。あらすじをまとめる学習は初めてで、戸惑う児童もいると予想される。あらすじについて具体的なイメージをもたせ、まとめる手順をていねいに示す必要がある。

4月に行った「海田町標準学力調査」において、「作文」の問題では、「相手や目的を考えながら、自分の考えが明確になるように、簡単な組み立てを考えて書くことができる。」の通過率は69.6%で全国平均の83.4%と比べ低かった。そのため、教材文の初発の感想文の添削等を行ってきた。このことから、文章を正しく読み取り書く力に課題があることが伺える。大事な言葉に着目して内容をすばやく読み取ることができる児童がいる一方で、どの言葉に着目してよいか分からず、内容を理解できない児童がいる。また、読み飛ばしや読み間違いなども多く、文章を細部まで注意して読み取ることができにくかったり、語のまとまりを意識できなかったりする児童もおり、読み取りの力に個人差が大きい。

○ 指導観

課題の設定では、単元の初めにどんな国の物語があるかを世界地図で示しながら「世界を旅しよう」と投げかけいろいろな国や地域の物語を読もうとする意欲を高める。そこで、いろいろな国や地域の物語のあらすじをまとめたり、読んだ感想を書いたりしながら「世界を旅しようパスポート」を作っていくことを知らせ、いろいろな国や地域の物語を読みすすめるという学習課題を設定する。

情報の収集の過程では、はじめに題名に着目させ、誰がどんなことをする物語かを考えさせる。その後、登場人物の行動に即してどんな出来事があったかを書き出す。その中からあらすじをまとめるのに必要だと考えた大事な出来事を選び、「はじめに」「それから」「ところが」「さい後に」をキーワードに分けさせる。なぜ大事な出来事なのか、なぜこの場面に入るのかを登場人物の様子や気持ちが

分かる大事な言葉を根拠に考えさせる。大事な言葉に気を付けてそれぞれの四つの場面で選んだ出来事を短くまとめ、物語全体のあらすじを短い文章でまとめさせる。

整理・分析の過程においては、教材文の情報収集の方法の習得を図るために「サーカスのライオン」を題材としてあらすじをまとめさせる。「物語流れカード」を使って登場人物をまとめさせる。そして、登場人物の行動に即してどんな出来事があったかを書き出す。その中からあらすじをまとめるのに必要だと考えた大事な出来事を選び、「はじめに」「それから」「ところが」「さい後に」をキーワードに分けさせる。なぜ大事な出来事なのか、なぜこの場面に入るのかを登場人物の様子や気持ちが分かる大事な言葉を根拠に考えさせる。大事な言葉に気をつけてそれぞれの四つの場面で選んだ出来事を短くまとめ、物語全体のあらすじを短い文章でまとめさせる。

表現の過程では、自分が選んだいろいろな国や地域の面白いと感じた物語についてのあらすじをまとめる。登場人物がどうなったかを確認しながら、あらすじをまとめ「世界を旅しようパスポート」の作成をすすめていく。その中におすすめポイントとして面白いところを一言添え、いろいろな国や地域の物語を読んでいく意欲を高める。

振り返りの過程では、いろいろな国や地域の物語を読み進める中で、「世界を旅しようパスポート」を利用し、グループで面白いところを交流し合う。それぞれが読んだ面白いと感じた場面を比べることで、国や地域が違っていても似たような内容のものや、そこにしかない物語があることに気付かせ、読書の幅を広げさせる。

単元の目標及び内容について

- いろいろな国や地域の物語を読むことに興味を持ち、進んで読んだ物語を紹介しようとしている。【関心・意欲・態度】
- 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意して読み、文章などを引用したり要約したりすることができる。【読むこと エ】
- 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むことができる。【読むこと カ】
- 物語のあらすじを読み取ったり紹介したりするために、必要な語句を増やしている。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ（オ）】

単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
【言語活動】世界や地域の本のあらすじをまとめて、「世界を旅しようパスポート」を作る。		
いろいろな国や地域の物語読むことに興味を持ち、読んだ物語を紹介しようとしている。	場面ごとの出来事を順序よく読み取り、物語のあらすじをまとめている。 いろいろな国や地域の物語の中から読みたい本を選び、進んで読んでいる。	物語のあらすじを読み取ったり紹介したりするために、必要な語句を増やしている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・いろいろな国や地域の物語を進んで読み、キーワードカードにまとめながら大事な言葉に着目し、出来事をまとめて「世界を旅しようパスポート」作りをしている。	・いろいろな国や地域の物語を読み、キーワードカードにまとめながら「世界を旅しようパスポート」作りをしている。
【思考力】	・「はじめに」「それから」「ところが」「さい後に」をキーワードに登場人物に即して起きた出来事確かめ、文章の大事な言葉に着目し、分かりやすいあらすじをまとめることができている。	・「はじめに」「それから」「ところが」「さい後に」をキーワードにあらすじをまとめることができている。
【自己理解】	・あらすじをつかむという目的を明確にもちながら物語を読み、あらすじを書き、読書への関心を高めている。	・いろいろな国や地域の物語を読み、あらすじを書いている。

指導と評価の計画

全 10 時間

次	時	学習内容	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定（1） ○いろいろな国や地域の物語を読み、読んだ本のあらすじをまとめ、「世界を旅しようパスポート」にまとめるという学習課題をもち、学習計画を立てる。 ・世界地図でいろいろな国や地域の物語を紹介する。 ・単元で付けたい力について考え、ゴールの見通しをもち、学習計画を立てる。	○			・いろいろな国や地域の物語に興味をもち、あらすじをまとめていく学習について考えようとしている。	ノート 行動観察
二	2	情報の収集（3） ○教材文を読み、物語の大体をとらえる。 ・それぞれの場面の登場人物を確かめる。 ・題名に着目し、物語の大体をとらえる。		○		・物語の大体をとらえ、場面ごとの登場人物をまとめている。	ワークシート 行動観察
	3	○教材文を読み、人物の行動をとらえ物語流れカードにまとめる。 ・登場人物の行動に即してどんな出来事があったかを書き出す。 ・あらすじをまとめるのに必要だと考えた大事な出来事を選び、「はじめに」「それから」「ところが」「さい後に」をキーワードに分けさせる。 ・なぜこの出来事を選んだのかを登場人物の様子や気持ちが分かる大事な言葉を根拠にグループごとに考えさせる。		○		・場面で起きた出来事を整理し、大事なところを押さえている。	ワークシート 行動観察

いろいろな国や地域の物語の並行読書

次	時	学習内容	評 価			
			関 読 言	評価規準	評価方法	
二	4	○物語全体のあらすじをまとめる。 ・大事な言葉に気を付けてそれぞれの場面のあらすじをつなげ、物語全体のあらすじを短い文章でまとめる。 ・おすすめポイントを加え、まとめたあらすじを発表する。		○	・人物の行動に即して出来事をとらえ、大事な言葉に着目しながら場面ごとにあらすじをまとめている。	ワークシート 行動観察
三	5	整理・分析（２） ○「サーカスのライオン」を読み、あらすじをまとめる。 ・登場人物の行動に即してどんな出来事があったかを書き出す。 ・あらすじをまとめるのに必要だと考えた大事な出来事を選び、「はじめに」「それから」「ところが」「さい後に」をキーワードに分けさせる。 ・なぜこの出来事を選んだのかを登場人物の様子や気持ちが分かる大事な言葉を根拠にグループごとに考えさせる。 【本時】		○	・場面で起きた出来事を整理し、大事なところを押さえている。	ワークシート 行動観察
	6	○物語全体のあらすじをまとめる。 ・物語流れカードを基にあらすじをまとめる。 ・おすすめポイントを加え、まとめたあらすじを発表する。		○	・人物の行動に即して出来事をとらえ大事な言葉に注意してあらすじをまとめている。	ワークシート 行動観察
四	7	まとめ・創造・表現（２） ○自分が選んだいろいろな国や地域の物語についてのあらすじをまとめる。 ・物語流れカードを作る。 ・物語流れカード基にあらすじを「世界を旅しようパスポート」に六～十文程度でまとめる。		○	・人物の行動に即して出来事をとらえ大事な言葉に注意してあらすじをまとめている。	ワークシート 行動観察
	8	○いろいろな国や地域の物語を読み、「世界の旅パスポート」にまとめる。 ・簡単なあらすじを書く。 ・おすすめポイントを加える。		○	・友達が読みたくなるような本のあらすじをまとめている。	ワークシート 行動観察
五	9	振り返り（１） ○感想を交流する。 ・読んだ物語の面白いところをグループで交流する。		○	・いろいろな国や地域の物語の感想を伝え合おうとしている。	ワークシート 行動観察
六	10	学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・いろいろな国や地域の物語を読む楽しさに気付く。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で紹介カードを基に自らの学びを振り返る。		○	・いろいろな国や地域の物語を読む楽しさに気付こうとしている。	自己理解

いろいろな国や地域の物語の並行読書

本時の学習

(1) 本時の目標

- それぞれの場面での出来事を整理し，大事な言葉を押さえることができる。

(2) 本時の評価規準

- 登場人物の行動に即して起きた出来事を大事な言葉に注意してまとめている。 【読む能力】

(3) 本時の学習展開（5時間目／全10時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 本時の学習課題を確認する。 めあて _____ それぞれの場面の大事なところはどこかを考えよう。	◇それぞれの場面の大事な言葉や文章をつなげて，あらすじキーワードにまとめることを確認する。	
本時のゴールの見通し A ：登場人物の行動に即してその場面で起きた出来事を大事な言葉に着目してまとめ，じんざの心情を交えながら出来事のつながりに気付いている。 B ：登場人物の行動に即してその場面で起きた出来事を大事な言葉に着目してまとめている。		
2 それぞれの場面の登場人物を確かめる。 ○それぞれの場面の主な登場人物についてまとめよう。 (第1場面) ・じんざ (第2場面) ・じんざ 男の子 (第3場面) ・じんざ 男の子 (第4場面) ・じんざ 男の子 (第5場面) ・サーカスのおじさん お客さん	◇それぞれの場面の主な登場人物を物語流れカードにまとめさせる。	
3 登場人物に即した出来事を場面ごとに書き出す。 ○物語流れカードを使いながら起きた出来事を整理しよう。 (第1場面) ・サーカスのライオンじんざは，年とって，一日中ねむっていた。 (第2場面) ・ある夜，じんざは，ライオンを好きな男の子と出会い，うれしくなった。 (第3場面) ・男の子が毎日来て，楽しさとやる気を取りもどした。 (第4場面) ・男の子の家が家事になり，じんざはおりをこわして助けに行く。	◇じんざの視点にたって考えさせる。 ◆「誰が」「どんなことをして」「どうなった」という文型に合わせ，それぞれの場面で起きた出来事を考えさせる。	

<p>学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力</p>
<p>(第4場面) ・男の子を助けたじんざは、金色のライオンになって消え去った。 (第5場面) ・次の日、ライオンのいないサーカスでお客さんは、一生けん命に手をたたいた。</p> <p>4 キーワードを基に人物の行動や出来事を分ける。 ○起きた出来事をキーワードに分けよう。 ・はじめに 一場面 ・それから 二・三場面 ・ところが 四場面 ・さい後に 五場面</p> <p>5 人物の行動や出来事で気持ちがよく表れている言葉を選び、グループで交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>□思考の場の工夫 関連付ける それぞれの場面を関連付けながら、大事な言葉を選んでいる。</p> </div> <p>(ところが) ・「おりをぶちこわして」のところが、男の子を助きたいじんざの思いがよく分かるよね。 ・「ぱっと火の中にとびこんで」のところが、じんざが火なんかこわくない、自分にまかせろという思いがよく分かるよね。</p> <p>5 グループで出てきた考えを全体で交流する。 ○大事な出来事を選ぶときじんざのどんな気持ちを考えながら話し合いましたか。</p>	<p>◇それぞれの場面を「はじめに」「それから」「ところが」「さい後に」をキーワードに分けさせる。</p> <p>◇様子や気持ちの分かる大事な言葉に着目させる。</p> <p>◇キーワードごとにグループで話し合いながら、なぜ選んだかの根拠を考えさせる。</p> <p>◇じんざの心情も交えながら出来事を選んでいく。</p>	<p>◎場面の移り変わりに注意し、登場人物の気持ちを考えてキーワードごとに大事なことをまとめている。〔読む能力〕(キーワードカード)</p>
<p>★めざす児童の姿 じんざがどのようにしたかを考えていくとあらすじがまとめることができました。「ところが」の場面の出来事を選ぶときは「おりをぶちこわして。」です。じんざの男の子を助きたいという強い思いが感じられるところにしました。</p>		
<p>6 本時の学習のまとめをする。 ○あらすじに入れたい出来事はどんな文や言葉でしたか。 ・登場人物の様子や気持ちがよく分かる文や言葉です。</p>		

(4) 板書計画

世界の物語で旅しよう

めあて

それぞれの場面の大事なところはどこかを考えよう。

- 大事なところをまとめる。
- ◎ きもちを考え、大事なところをまとめる。

	登場人物	大事な出来事言葉
はじめに	① ・じんぎ	・サーカスのライオンじんぎは、年とつて、一日中ねむっていた。
それから	② ・じんぎ 男の子	・ある夜、じんぎは、ライオンを好きな男の子と出会い、うれしくなつた。
③ ・じんぎ 男の子	③ ・じんぎ 男の子	・男の子が毎日来て、楽しさとやる気を取りもどした。
ところが	・男の子の家が家事になり、じんぎは	・男の子の家が家事になり、じんぎは
④ ・じんぎ 男の子	・男の子を助けたじんぎは、金色のライオンになって消え去った。	・男の子を助けたじんぎは、金色のライオンになって消え去った。
さい後に	・男の子を助けたじんぎは、金色のライオンになって消え去った。	・男の子を助けたじんぎは、金色のライオンになって消え去った。
⑤ ・サーカスのおじさん お客さん	・次の日、ライオンのいないサーカスでお客さんは、一生けん命に手をたいた。	・次の日、ライオンのいないサーカスでお客さんは、一生けん命に手をたいた。

男の子を助けたい

まとめ

・じんぎを中心に出来事をまとめるとあらすじができる。

〈参考〉 学びのモニタリング

海田東小 学びのモニタリング

世界の物語で旅しよう

「はりねずみと金貨」

三年 組 番 ()

主体性・・・いろいろな国や地域物語を進んで読む

自分の選んだ世界の国の物語を進んで読むことができた。

とても まあまあ ふつう あまり まったく
5 4 3 2 1

思考力・・・わかりやすいあらすじをまとめる

文章の大事な言葉に気をつけて、分かりやすいあらすじをまとめることができた。

とても まあまあ ふつう あまり まったく
5 4 3 2 1

自己理解・・・あらすじを書き紹介する楽しさに気づく

いろいろな国の物語を紹介する楽しさ気づくことができた。

とても まあまあ ふつう あまり まったく
5 4 3 2 1

④ これまでの自分の国語の学習のようすとくらべながら学習をふり返り、感想を書きましょう。
